

R educe (ごみを出さない)

- マイバッグを持参し、不要なレジ袋を断る
- 買い物は余分に買い過ぎず、必要なものだけ買う
- 料理の食べ残しをしない
- 外出の時はマイボトルやマイ箸を使う



R euse (くり返し使う)

- フリーマーケットやリサイクルショップを活用する
- シャンプーなどは、詰め替え商品を利用する
- 裏紙をメモ用紙として使用する
- 着られなくなった洋服は知人にあげたりリメイクして活用する



R ecycle (分別して再利用)

- きちんと分別してごみ集積所に出す
- トイレットペーパーは再生品を選ぶ
- 生ごみをたい肥化してプランターで利用する
- 新聞や雑誌は地域の資源集団回収に出す



問い合わせ：環境局減量推進課 TEL 200-2580 FAX 200-3923

『プラスチックごみを減らそう！』

今、世界で海洋プラスチックごみが問題となっています。

世界では、1年間に数百万トンを超えるプラスチックごみが海に流れ出ているとされ、何も対策を取らないでいると、2050年には、海洋中に存在するプラスチックごみの重量が魚の重量を上回るとされています。

《私たちにできること》

- マイバッグやマイボトルを積極的に使用し、プラスチックごみを減らしましょう！
- ごみ箱のない屋外などで出たごみは、きちんと持ち帰りましょう！



九都県市首脳会議（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市）では、海洋プラスチックごみ問題検討会を設置し、海洋プラスチックごみによる問題の解決に向けて取り組んでいます。

問い合わせ：環境局生活環境部廃棄物政策担当 TEL 200-2564 FAX 200-3923